

給水管更生工事、1日で完了 翌日お引き渡し!

モバイルリボン工法

特許番号 第4411298号

モバイルリボンが創る『夢』の給水環境



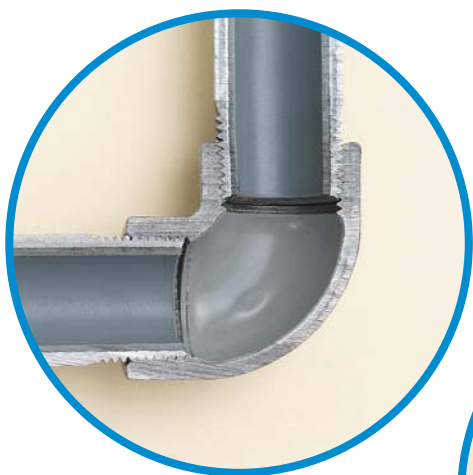
人・街・未来へ

いずみテクノス株式会社



審査証明 第0702-C号

給水管を長持ちさせるポイントは、 早期の延命措置。



新築時給水管

継手の金属部分が露出している。



10～15年経過した給水管

継手部分のプリスター

(樹脂コーティング皮膜のふくれ)が大きくなり、サビが蓄積して通水状態が悪化しています。



MR工法による ライニング後の給水管

プリスターやサビも確実に除去され、
新たなコーティングが施されているため、
快適な給水環境が復活。
もちろん、水質への影響は全くありません。

あなたのビル、マンションは築後何年が経っていますか？ もし10年以上なら、給水管の老朽化に要注意。現在、多くの建物で使われている給水管＝塩ビライニング鋼管は、年月を追うほどにサビやプリスター（樹脂コーティングの劣化によるふくれ）が蓄積されていきます。そして、ついには水の通りが悪くなり、赤水が出始めたらもう手遅れ。給水管を取り替える大工事で、経済的負担が増大してしまうことにもなりかねません。

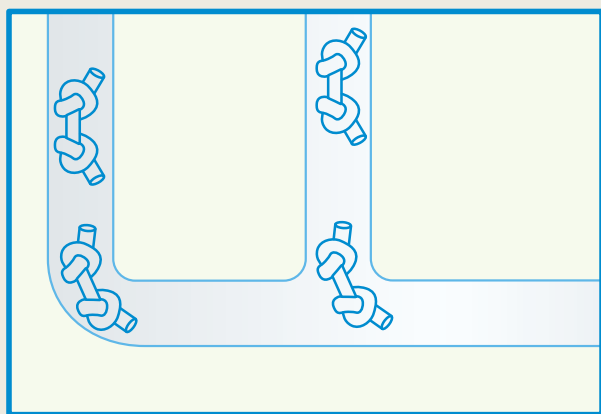
だからこそ、いずみテクノスがお勧めする『MR工法』で早めの対応を。『MR工法』とは、給水管を安全・確実にリフレッシュする画期的な技術。しかも従来工法に比べ、簡単かつスピーディに完了します。まずは私たちにご相談ください。エキスパートによる綿密な調査・診断のもと、最適な処置を提案。快適な給水環境を蘇らせ、さらに大幅な延命をも実現します。



審査証明第0702-C号

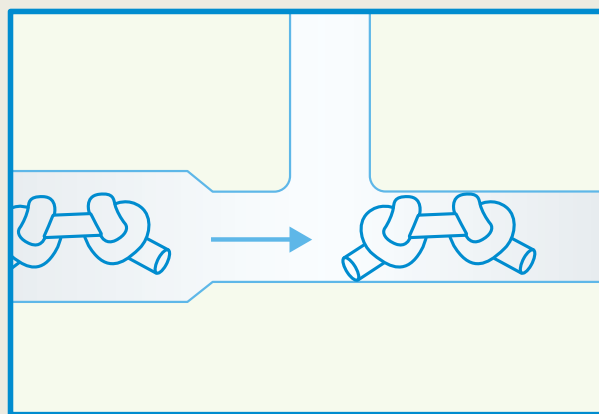
課題解決を、短期間で実現する MR（モバイル リボン）工法とは…

老朽化した給水管内に蓄積したサビにより発生する、管の詰まりや水質悪化問題。ビル、マンションでは避けられないこれらの課題を、大規模な管の取替工事などを行うことなく簡単・即行で解決する最新の管更生（ライニング）技術、それがMR工法です。その特長は、サビや付着物の除去をハイレベルで行う研磨技術と、乾燥の早い新開発塗料で安定した防サビ樹脂塗膜をつくる画期的な“モバイル リボン”にあります。これら新技術により、従来工法では3日を要した通水までの工期を大幅に短縮しました。



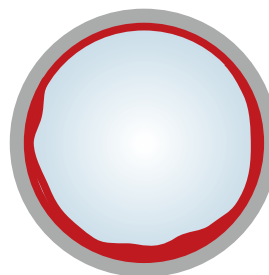
MR工法→ボール状冶具

従来では塗膜にムラのできやすかった横引管や継手部分も、新開発の特殊リボンはスムーズに移動し、配管内をくまなく均一にライニングしていきます。



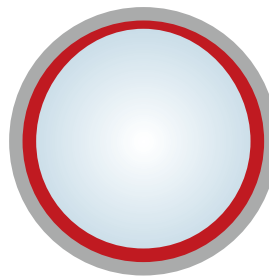
ライニング品質を飛躍的に向上させる、 新開発ライニング・ツール。

従来工法の多くは、管の中にエアを送り防サビ塗料を塗る“気流法”のみの処理のため、継手部分や横引管の上部の塗料が薄くなりやすく、均質化されにくいという問題を抱えていました。MR工法では、機械により均一に混合した塗料を配管内に入れ、まずエアによりライニングを実施。その後直ちに新開発の特殊リボンを通すことにより、0.3mm以上の塗膜を塗り残しなく均一に仕上げていきます。このような高品質なライニングを可能にしたのが、『MR（モバイル リボン）工法』なのです。



リボン通し前

従来の“気流法”のみの場合、防サビ用塗料は塗布後に自重で管の下部にたまり、上部が薄くなってしまいます。



リボン通し後

リボンが管内を複雑に動き、塗料を全体的にムラなく均一に行き渡らせます。

MR工法の工事は、1日で完了！翌日引き渡し！ 居住者の不便を最小限にとどめます。

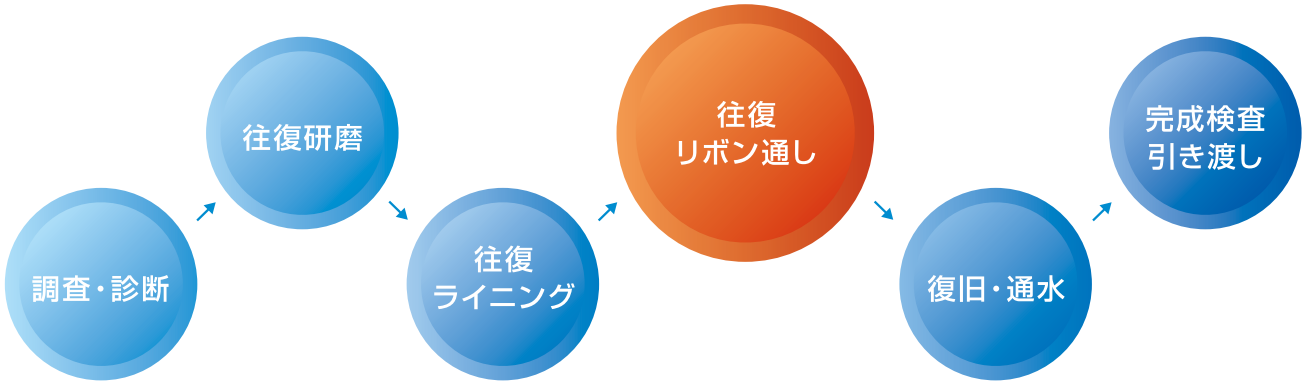
従来の工法では、2日にわたり2回のライニングを行うため通水まで3日間を要し、その間居住者の方は不便を強いられていました。MR工法なら、それらと同等の塗膜を1日で作ることが可能。全作業を1日で行い、翌日の午前中検査を経て通水、極めて短期間で再び快適な給水環境をご利用いただけます。

■モバイル リボンと従来工法の比較

		1日目		2日目		3日目	
モバイル リボン工法	AM9:00	管内乾燥・研磨・ 管内清掃・塗料塗布・ 仮設水栓・塗膜乾燥	(6戸対象)	配管復旧・通水・検査	各戸1～2 時間で 引き渡し	通常生活	
	PM5:00			通常生活			
従来工法	AM9:00	管内乾燥・研磨・ 管内清掃・塗料塗布・ 仮設水栓・塗膜乾燥	(4戸対象)	塗膜乾燥		配管復旧・通水・検査	各戸1～2 時間で 引き渡し
	PM5:00						

■全工程の概要

まず事前に、配管の調査・診断を綿密に行います。施工当日、午前中の3時間程度で管内の往復研磨を実施し、サビなどの付着物をていねいに取り除きます。次に午後、4時間程度で往復ライニングと往復のリボン通し作業を行い、管内の塗膜を仕上げていきます。



◎翌日、1～2時間程度の通水・完成検査を行ったうえで、お引き渡しとなります。

◆室内養生

各室のすべての水栓を取り外し、養生シートを敷きエアホースを接続。配管内の乾燥後、研磨剤を投入して管内の研磨を行います。

◆各工程終了後、厳密な検査を実施。

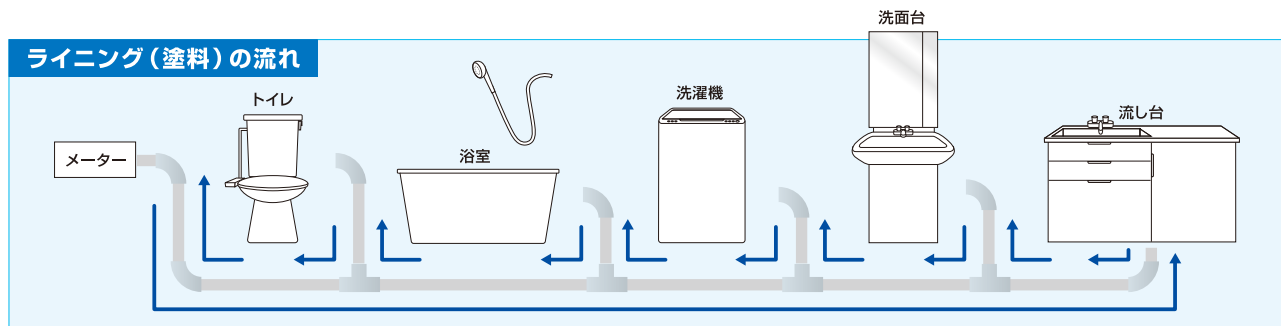
適正な研磨剤の使用量を、内視鏡検査で決定。研磨の状態を限度見本と比べ検査しながら作業を進めていきます。次に防サビ塗料の塗布後、塗膜の品質を内視鏡で細部にわたるまで検査・確認します。

◆お引き渡し前の完成検査も安心・確実。

まず乾燥後の塗膜が、鉛筆の“H”以上の硬度に仕上がっているか確認検査を行います。次に通水に先立ち、水質について色度・濁度・味・臭気・残留塩素の5項目検査を行います。最後に発注者様立ち会いのもと、各段階での施工や検査の記録、テストピース、公的水質検査報告書などを揃え確認を行ったうえで、承認、お引き渡しとなります。

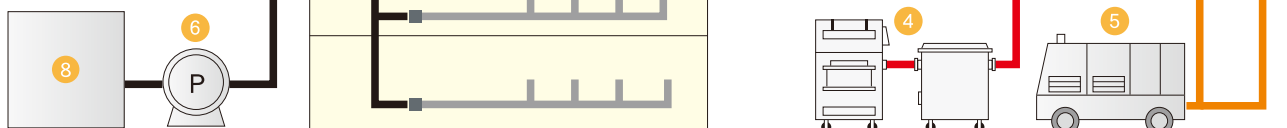


すべての作業工程を1日で完了! 効率アップと高い信頼性を実現した 新開発の管更生『MR工法』。



MR工法概念図

- ① 塗料機
- ② 研磨機
- ③ 空気ヘッダー
- ④ 集塵装置
- ⑤ コンプレッサー
- ⑥ 揚水ポンプ
- ⑦ 高置水槽
- ⑧ 受水槽



① 塗料機



④ 集塵装置



② 研磨機

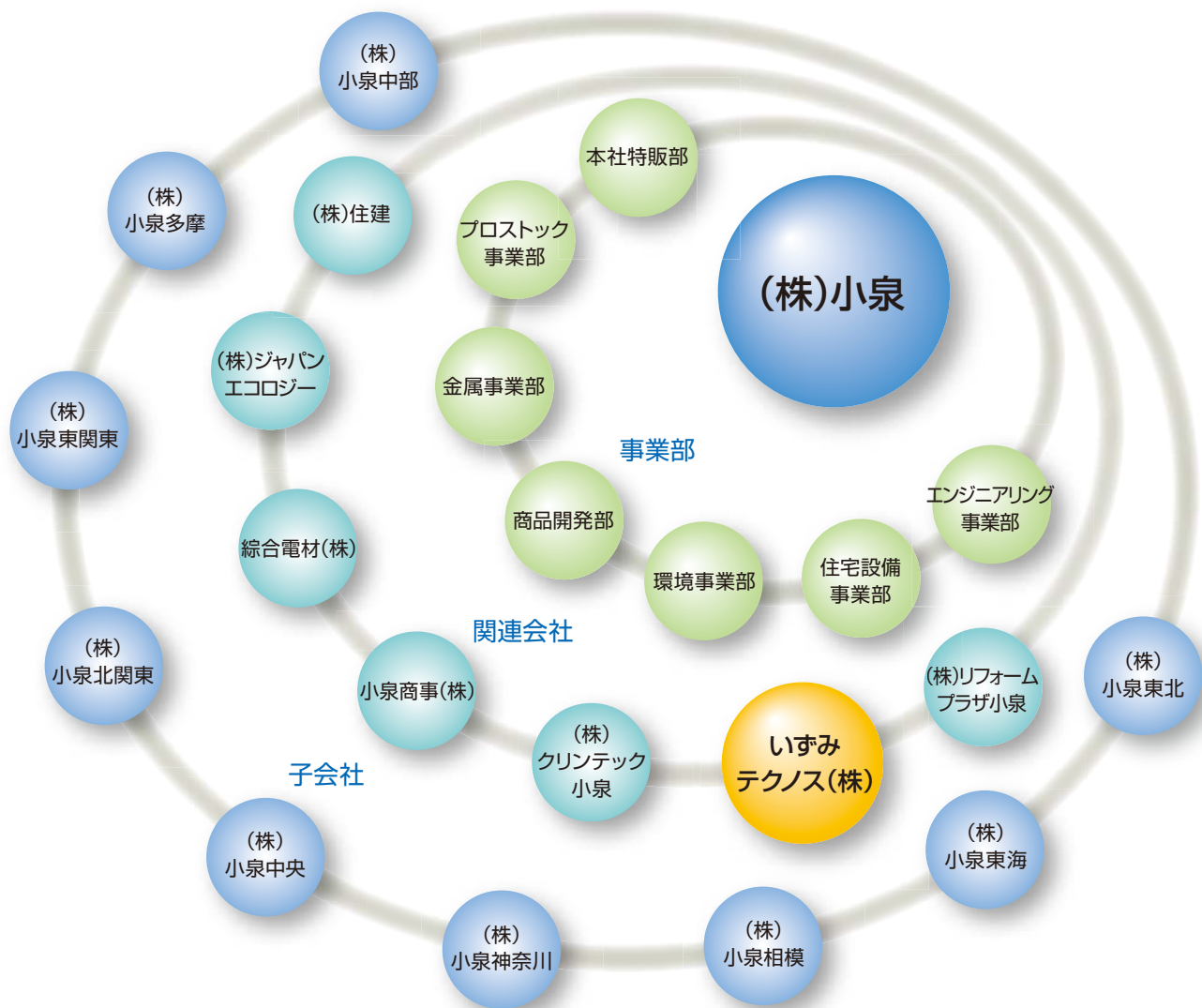


③ 空気ヘッダー



⑤ コンプレッサー

お客様の「信頼」を支える小泉グループ



（ 私たちは、住宅設備機器の総合サプライヤー、
小泉グループの一翼を担う総合設備工事会社です。 ）

【 主要営業項目 】 1.ビル・マンション、集合住宅の空調設備・給排水衛生設備の設計、施工
2.給排水衛生設備改修工事(大規模改修共)

【 建設業許可 】 管工事業 国土交通大臣(特-5)第17059号

【 工 法 技 術 】 自社開発「モバイルシリーズ」
①モバイル・リボン工法(Mobile Ribbon工法) 給水管更生工事
審査証明/第0702-C号、第1004-B号 特許/第4411298号
②モバイル・ハイブリッド工法(Mobile Hybrid工法) 排水管更生工事
審査証明/第1005-B号



人・街・未来へ

いずみテクノ株式会社

本 社：〒167-0043 東京都杉並区上荻2-19-17
横浜営業所：〒226-0021 神奈川県横浜市緑区北八朔町1103-1
埼玉営業所：〒350-1105 埼玉県川越市今成2-41-1
千葉営業所：〒264-0016 千葉県千葉市若葉区大宮町2176-1
<https://www.izumitechnos.co.jp>

TEL:03-5335-7601 FAX:03-5335-7611
TEL:045-934-2761 FAX:045-934-5589
TEL:049-224-7801 FAX:049-223-0301
TEL:043-266-2537 FAX:043-266-2538